

# NHK、ひろしまタイムライン過去投稿「削除せず移設」

会員記事

宮崎園子 2020年10月1日 22時46分



シュン@ひろしまタイムライン  
@nhk\_1945shun

★スタッフからのお知らせ★  
プロジェクト開始から半年、過去のツイートをまとめて読みやすくしてほしいとの要望に応え、9/18「やすこ」の日記終了を機に、「一郎」「シュン」も含めた3アカウントの1か月以上経過したツイートを10月から番組HPに移設します。今週末10/2予定です  
[#ひろしまタイムライン](#)

午前10:59 · 2020年9月28日 · Sprinklr

128件のリツイート 29件の引用ツイート 1,383件のいいね

過去の投稿の「移設」を伝える「ひろしまタイムライン」のツイッター投稿

「朝鮮人」の記述をめぐるツイッター投稿が批判されたNHK広島放送局の企画「1945ひろしまタイムライン」について、同局は過去の投稿を企画のホームページに「移設」として明らかにした。同局は批判を受けて「配慮が不十分だった」などと関係者に謝罪したが投稿は削除しておらず、ツイッターなどで削除を求める声が上がっている。

同局によると移設は2日の予定。1か月以上経過したツイートが対象という。9月28日、「過去のツイートをまとめて読みやすくしてほしいとの要望に応えるため」などと投稿した。

同局の広報責任者によると、批判された投稿もツイッター上から消える。同局にはこれまで、投稿の削除を求める声が複数寄せられてきたというが、「企画の趣旨に照らして残すべきだと判断した」として削除してこなかった。今回の「移設」は、削除を求める声への対応ではなく「半年くらい前からもともと予定していた措置」という。

企画は、実在の市民3人をモデルにした三つのアカウントで、それぞれが1945年に書いた日記をもとに2020年の同じ日につぶやく内容。三つあるアカウントのうちの一つでの6月16日と8月20日の投稿をめぐる、元の記事にない「朝鮮人の奴（やつ）ら」などの一部の投稿について、「敵意をあおっている」「差別を助長している」といった批判が相次いだ。同局が「配慮が不十分だった」とツイッター上で関係者におわびする事態となり、NHKの前田晃伸会長も9月の定例会見で「リスクチェックが甘かった」などと発言した。

▼ここから続き

NHK側はモデルとなった男性被爆者らに謝罪はしたが、朝鮮半島出身者に対しては、少なくとも同企画のツイッターやホームページでは明確な謝罪はしていない。問題とされた投稿はいずれも削除されず、投稿へのリプライ（返信）などの形で、第三者による民族差別的な投稿が連なった状態が続いてきた。

こうした中、在日本大韓国民団中央本部人権擁護委員会などが、広島法務局に人権救済を申し立てた。9月23日付の申立書で、差別の意図はないというNHK側の主張を前提に「差別か

どうかは『目的』のみならず『効果』をもって判定される。目的が善意だった、差別するつもりはなかった、という言い訳は通らない」としている。

投稿の削除を求める署名運動を8月から展開してきたカナダの平和団体「ピース・フィロソフィー・センター」のサイトには現在、賛同人200人以上の名が並ぶ。「移設」により、リプライで書き込まれた差別的な投稿は削除された形になるとみられるが、乗松聡子代表は「私たちは、元の投稿の批判をし、削除を求めている。ツイッターからホームページに移設しても、ネット上に残るのは問題だ」としている。（宮崎園子）